

大勢の買い物客でにぎわう

伝統の大瓜市

400年の歴史があり市のふる



さと行事である大瓜市が8月12日、宇多川町で開催されました。

当行事は宇多川町商店街振興組合が主催し、お盆の時期に用いる品物や供物などを買いたいそろえる盆市が起源で、3年ぶりの開催。

歩行者天国となった通りには、スイカやお盆に必要な花のほか、かき氷や金魚すくいなどの露店が並び、大勢の来場客でにぎわいました。

安心して子育てできるまちを目指してベビーファースト運動

ベビーファースト運動活動宣言は8月23日、市役所で行われました。

本市が、日本青年会議所の提唱する、子育て世代が子どもを産み育てたくなる社会を実現するための運動「ベビーファースト運動」に賛同し、参画を宣言するもの。

立谷市長は同席した佐藤圭さん親子らとともに「子どもたちのびのびと育ち、安心して子育てができるまち・そ



うま」と活動宣言を行いました。

コメやノリなどを贈呈市玉ノ井部屋後援会



市玉ノ井部屋後援会による大相撲玉ノ井部屋への物資贈呈式は8月12日、千客万来館で行われ、玉ノ井太祐親方や同後援会の関係者約10人が出席しました。

同後援会は、大相撲玉ノ井部屋の夏合宿が新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために中止となったことから、相馬夏合宿に代わって支援物資を贈呈することを決定。当日は、立谷一郎同後援会会長から玉ノ井親方に相馬産のコメやノリなどの特産品や支援金が贈られました。

灯籠に鎮魂の祈りを込めて

松川浦で流灯会

海で命を失った人々を供養する流灯会は8月12日、松川浦漁港で開かれ、関係者ら約50人が出席しました。

同会は、相馬双葉漁業協同組合が海上遭難者を供養するため毎年開催しているもので、東日本大震災後は震災で亡くなられた方も慰霊しています。船から海上に手作りの灯籠約300個が流され、参列者は亡くなられた方の冥福を祈り、静かに灯籠を見送りました。



夏の防犯パトロール

市西部地区防犯協会

夏の防犯パトロール出発式は8月17日、市民会館で行われ、関係者約30人が出席しました。

同協会は、中村西部1区から12区の居住者で構成され、犯罪のない明るい社会づくりを目的に青少年の非行防止や防犯の活動を実施。

出発式の後、会員らは田町通りや駅前などへ防犯パトロールに出発し、相馬警察署員とともに店舗などを巡回。店主などに防犯啓発グッズを手渡し、犯罪への注意を呼び掛けました。



小・中学校防災訓練（防災・防犯）

▽中村第二中学校

中村第二中学校の防犯訓練は8月26日、全校生徒181人らを対象に行われました。

訓練は、校内への不審者侵入を想定し、緊急時の対応や避難方法を理解することで防犯意識を高めることを目的に実施。

当日は、不審者役の教師が1階昇降口から校舎に侵入し、発見した教師が不審者に応対している間に、生徒らは鍵をかけた教室で待機し、防犯意識を高めていました。



▽中村第二小学校



中村第二小学校の防火避難訓練は9月1日、全校児童389人らを対象に行われました。

訓練は給食室からの火災を想定して行われ、児童らは火災発生の校内放送が流れた後、教師の指示に従って一斉に校庭に避難しました。

続いて、実際の消火活動で使用する消防ホースによる放水訓練や消火器訓練が行われ、代表児童が消防団員に支えられながら放水などに挑戦し、消防団活動を体験しました。

▽中村第一中学校

中村第一中学校の防災給食は9月2日、全校生徒406人らを対象に実施されました。

給食は、市防災備蓄倉庫の備蓄品を含めた献立で作られ、生徒らは水を入れるだけでご飯ができるアルファ米やヒートレスカレーなどを使った給食をおいしそうに食べていました。

※防災給食は、防災の日である9月1日から9月5日にかけて市内の小・中学校の児童・生徒を対象に実施されました。



▽中村第一小学校



中村第一小学校防犯訓練は9月2日、全校児童343人らを対象に行われました。

訓練は、不審者が窓から侵入した場合を想定し、市内小・中学校教諭の研修と併せた公開授業形式で実施。

不審者役の警察官が侵入した教室の児童らは、教師の指示に従って避難しました。

訓練終了後に、1年生の児童らは、迎えにきた保護者と一緒に下校し、防犯への意識を高めていました。

地域を学ぼう 磯部中学校総合学習

磯部中学校の総合的な学習の時間「磯部のことを知ろう（水産業編）」は8月31日、同中学校で1年生の生徒8人を対象に行われました。

当日は、磯部地区の水産業に長年携わってきた阿部洋子さんを講師に迎え、漁師の生活などが説明されたほか、市の特産品であるホッキ貝のむき方やさばき方が実演されました。

生徒らは、ホッキ貝の固い殻に苦戦しながらも楽しく調理し、磯部地区への理解と親しみを深めていました。



トラフグ今季初水揚げ 相馬双葉漁協

相馬双葉漁業協同組合によるトラフグの今季初水揚げは



9月1日、原釜漁港で行われました。

当日は11隻の漁船が出港し、原釜漁港で水揚げされたトラフグは約1,000キログラム。

トラフグは、大きさや色合いなどで値がつけられた後、東京都の豊洲などに多く流通されました。

※はえ縄漁で漁獲された相双沖の天然トラフグは、「福とら」と命名されブランド魚としてPRされています。

相馬産のナシを召し上げ

JAふくしま未来

シを贈呈しました。

JAふくしま未来によるナシの贈呈は9月1日、市役所で行われ、濱田賢次代表理事専務、高木正勝そうま地区役員代表、渡辺弘之そうま地区本部長の3人が訪れました。同組合による贈呈は、本市での農業振興や販路拡大を目的に、毎年行われています。濱田代表理事専務は「良質で糖度の高い美味しいナシができました。ぜひ多くの方に味わっていただきたい」と述べ、立谷市長に取れたてのナシ

復興・創生特別
賞受賞 和田いちごファーム

県農業賞復興・創生特別賞受賞報告は9月5日、市役所で行われ、合同会社和田いちごファームの山中賢一郎代表ら5人が訪れました。

同賞は、東日本大震災と原子力災害からの復興や創生に向けて意欲的に取り組み、将来にわたり県の農業を支える担い手として評価された団体などが受賞するものです。

和田いちごファームは、東日本大震災で被災したイチゴハウスを大規模ハウスに集約して効率的な生産を行っており、報告を受けた立谷市長は受賞をたたえました。

テノールの力強い響きを楽しむ

そうま音楽夢工房

きを楽しみました。

そうま音楽夢工房第72回演奏会「前川健生テノールコンサート 情熱の響きにのせて」は9月3日、市民会館で開催され、88人の市民らが音楽を楽しみました。

出演者は、テノール歌手の前川健生さんとピアノ奏者の赤松美紀さんの2人。

当日は、滝廉太郎作曲の「箱根八里」など、日本やオペラの名曲が披露され、訪れた市民らは、テノールの力強い響



迅速な初期消火の功績をたたえる

感謝状贈呈式

初期消火活動協力に関する

感謝状贈呈式は9月6日、市役所で行われました。

感謝状は、8月16日に中野地内で火災が発生した際、初期消火活動などの対応で被害を最小限に食い止めることができた功績をたたえるもの。

立谷市長は感謝状を手渡し、感謝の言葉を述べました。

●感謝状贈呈者（敬称略）

▽佐藤文敏▽菊地裕司▽菊地由美▽菊地泰成▽瀧澤智子▽佐伯啓子▽三浦明美▽牛渡久美子▽延山祐理▽佐々木星南



スポーツ大会出場報告

▽陸上女子 1、500メートル



スポーツ大会出場報告は
8月16日、市役所で行われ、
東北大会に出場する千田瑠
唯選手（相馬高校2年）が
訪れました。

千田選手は、7月に開催
された県大会で優秀な成績
をおさめ、8月20日から青
森県で開催される国民体育
大会東北ブロック大会兼第
49回東北総合体育大会に出
場。

報告を受けた福地憲司教
育長は千田選手を激励し、
奨励金を手渡しました。

▽ビーチバレー ボール

スポーツ大会出場報告は
9月5日、市役所で行われ、
全国大会に出場する相馬高
校の佐藤楓也選手と新妻権
選手、相馬総合高校の齋藤
美月選手と八巻真央選手の
4人が訪れました。

選手らは、6月5日に開
催された県大会でそれぞれ
優勝し、9月10日から栃木
県で開催される第77回国民
体育大会いちご一會とちぎ
国体に出場。

報告を受けた立谷市長は
選手らを激励し、奨励金を
手渡しました。



独創的なアイデアをたたえる

市発明展表彰式



第55回市発明展の表彰式は
9月7日、市役所で行われ、
入賞者が出席しました。

今回の発明展には、179点の
応募があり、日常生活で有益
か、努力の跡が見えるかなど
が審査され、市長賞など17点
が選ばれました。

表彰式では入賞者一人一人
に賞状と記念品が手渡され、
入賞した子どもたちをたたえ
ました。

受賞した作品17点は、11月
5日から11月6日まで郡山市
で開かれる第68回福島県発明
展に出品されます。

【入賞者（敬称略）】

●相馬市長賞

▽新妻優菜（中一小6年）ラ

ベルむきキャップカッター

▽高野凌雅（桜丘小4年）花
火持ち

▽伊東季沙（桜丘小6年）簡
単！ソーランタン

●福島県発明協会会長賞
武澤侑輝（中一中2年）大切
な本、そのままに

●相馬市教育委員会教育長賞
▽村田京（中一小6年）パー
カー用ハンガー

▽田代尚弥（桜丘小4年）ティ
アラ歩けるそうち

▽稲垣羽南（桜丘小6年）目
薬ガイド

●相馬商工会議所会頭賞
▽齋藤伶恋（八幡小6年）パッ
チンボックス

▽菅野雅姫（桜丘小6年）ヒ
ラリ防止ECO

▽豊田信羽（中二小5年）ら
くらくラップ

●福島民報社賞
▽志賀未宙（中一小6年）ア
イスオチネーゼ

▽太田賢吾（中一小6年）く
るりんパッ

▽米山美恋（桜丘小2年）か
いものふくろハンガー

●福島民友新聞社賞

▽早川将生（中一小6年）水
なしブラシ

▽菊池充（桜丘小3年）筆先
守るくん&洗い場よごしま栓

▽氏家海星（桜丘小5年）資
源物トレイ

●河北新報社賞
加藤瑠夏（中一中1年）自由
自在のマジックパッケ

●学校賞
▽桜丘小学校

▽中村第二小学校

